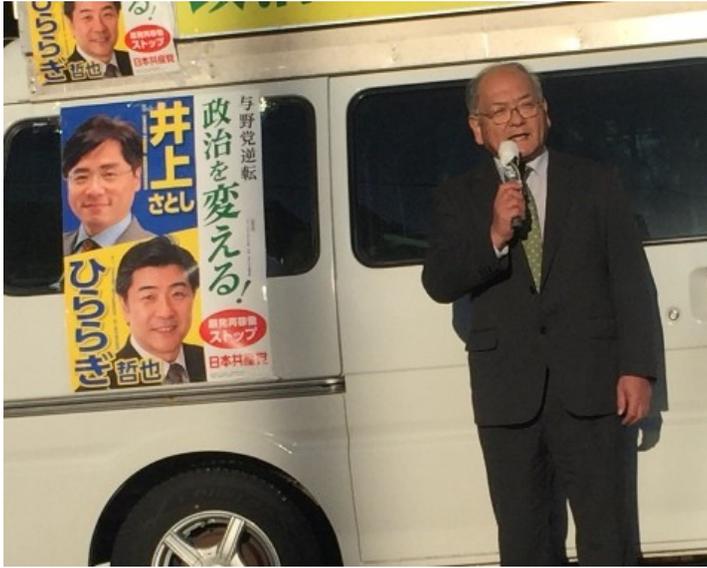


消費税10%への引き上げ許すな! 憲法改悪反対!



恒例となった日本共産党の新春の街頭宣伝。今年は4日に橋本正幸市議と、8日は平良木前市議とともに行いました。

今回の街頭宣伝では、まず、市民のみなさんのご支援に感謝するとともに、新しい年は市民のみなさんの暮らしを第一にした市政運営、災害に強いまちづくりを求めていきたい、とのべました。

国政、県政については今年は大激動の年となりそうです。「市民

の暮らしを守るためにも、地域経済を守るためにも、10月の消費税増税を強行させてはならない。大企業や資産家などへの優遇税制をやめ、税金の無駄遣いをやめれば財政再建はできる」「市民と野党の共闘の流れを太くし、県議選、参院選で日本共産党と市民と野党の共同勢力を躍進させ、安倍政権がすすめる憲法改悪を阻止しましょう」と訴えました。

市の三セク関与方針、3月までに策定へ

上越市はこのほど、第三セクター等の経営健全化の推進についての方針を市議会に対して明らかにしました。

第三セクター等経営検討委員会の検証によると、平成25年度に宿泊・温浴施設を管理運営する第三セクターを経営統合(持株会社化)したJ-ホールディングス(株)については、共同仕入れなどの経費削減の取組が進まず、「当初計画は総じて未達成」となっています。そして、「市が持株会社化のコンセプトを十分伝えきれず、経営方針が当初目指していた

ものとは異なってしまったことが要因と考えられる」と指摘しています。個別の第三セクターについても経営が深刻化しているところがあります。

こうした事態を受けて、市としては、第三セクター等の存続意義を改めて検証し、市として真に公費を投入して存続させる必要があるものに絞り込むことなどを判断する考えです。これらに対する市の関与方針は3月

までに策定するとい



【アセビ】ツツジ科の常緑低木。別名「アシビ」、「アセボ」。漢字で、「馬酔木」と書きます。白または薄いピンクの花を3月以降咲かせます。いまはつぼみの段階です。写真は12月29日、吉川区山直海(川袋)にて撮影しました。



消防出初め式に参加

6日の上越市消防出初め式に参加してきました。小川時雄消防団長は昨年2月に団長に就任された人です。1年近い団長活動を踏まえ、「自らの地域は自ら守る、その団員の姿を誇りに感じている。災害は激甚化し、頻発しており、消防団の出番が増えているが、市民の命と安全を確保していかなければならない」と力強く挨拶されました。

消防表彰では、上越市消防表彰の功績章で板倉方面隊の増村剛さんなど210人が表彰されました。勤続章では、吉川方面隊の上野康好さんなど173人が表彰されました。消防団長表彰では昨年、胎内市で行われたポンプ車操法競技、小型ポンプ車操法競技の県大会に出場した上越方面隊第三分団(丸山カ分団長)、吉川方面隊尾神分団(羽田剛分団長)に表彰状が贈られました。おめでとうございます。



今年の「新春の集い」は2月10日午後3時から頸城希望館にて開催します。今回は上野議員と合同で実施予定。参加費は1000円です。(写真は昨年)

はしづめ法一の
活動レポート

No.1892 2019.1.13

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

消費税10%への引き上げ許すな! 憲法改悪反対!



恒例となった日本共産党の新春の街頭宣伝。今年は4日に橋本正幸市議と、8日は平良木前市議とともに行いました。

今回の街頭宣伝では、まず、市民のみなさんのご支援に感謝するとともに、新しい年は市民のみなさんの暮らしを第一にした市政運営、災害に強いまちづくりを求めていきたい、とのべました。

国政、県政については今年は大激動の年となりそうです。「市民

の暮らしを守るためにも、地域経済を守るためにも、10月の消費税増税を強行させてはならない。大企業や資産家などへの優遇税制をやめ、税金の無駄遣いをやめれば財政再建はできる」「市民と野党の共闘の流れを太くし、県議選、参院選で日本共産党と市民と野党の共同勢力を躍進させ、安倍政権がすすめる憲法改悪を阻止しましょう」と訴えました。

竹平 - 藤尾間、朝6時～夜8時、1車線だけ通行可能。



関係者の皆さんのご努力により、地滑りで通行止めとなっていた県道大湊高柳線の大島区竹平 藤尾間は、災害復旧工事が進み、11日の午後から1車線のみ通行ができるようになりました。ただし、通行できるのは午前6時から午後8時までです。午後8時からの夜間は緊急時以外、通行止めとなるもようです。写真は10日の午後4時頃、現場にて撮ったものです。

市の三セク関与方針、3月までに策定へ

上越市はこのほど、第三セクター等の経営健全化の推進についての方針を市議会に対して明らかにしました。

第三セクター等経営検討委員会の検証によると、平成25年度に宿泊・温浴施設を管理運営する第三セクターを経営統合(持株会社化)したJ-ホールディングス(株)については、共同仕入れなどの経費削減の取組が進まず、「当初計画は総じて未達成」となっています。そして、「市が持株会社化のコンセプトを十分伝えきれず、経営方針が当初目指していた

ものとは異なってしまったことが要因と考えられる」と指摘しています。個別の第三セクターについても経営が深刻化しているところがあります。

こうした事態を受けて、市としては、第三セクター等の存続意義を改めて検証し、市として真に公費を投入して存続させる必要があるものに絞り込むことなどを判断する考えです。これらに対する市の関与方針は3月

までに策定するとい



【アセビ】ツツジ科の常緑低木。別名「アシビ」、「アセボ」。漢字で、「馬酔木」と書きます。白または薄いピンクの花を3月以降咲かせます。いまはつぼみの段階です。写真は12月29日、吉川区山直海(川袋)にて撮影しました。



今年の「新春の集い」は2月10日午後3時から頸城希望館にて開催します。今回は上野議員と合同で実施予定。参加費は1000円です。(写真は昨年)



田麦での夕陽風景。10日撮影。

はしづめ法一の活動レポート

No.1892 2019.1.13
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
 「ホーセの見
 てある記」は
 ← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第五四〇回

夫は夢の中で

一人暮らしになったMさんを昨年の一二月の半ば過ぎ、訪ねました。「タツの中で寝ておられたのでしよう、大きな声で「ごめんください」と呼んでもしばらく返事がありませんでした。」

一、二分経って、ようやく人が来たことに気づいたMさんは、「おれ、すぐに起きらんねえがで……」と言って、ゆっくりと玄関に出てくれました。

「まあ、Aさんだと思ったら、橋爪さんかね。入ってくんない」そう言ってMさんは私を誘ってくださいました。でも、この日はいろいろとやることあって、とても忙しい日でした。「きようは入らんで行くわね」と返事をする、Mさんは、「まあ、いいねかね」と言われました。Mさんの顔を見たら、すぐ帰れば、はらいねがらる、と心配になりました。

家の中に入れば、どうしても長くなくなってしまいます。玄関で少し話をして、サヨナラしよう、私はそう思いました。

そこで、Mさんに質問したのです。「お父さんの夢、見なかったかね」と。そして、Mさんはすぐに「見た、見た」。しゃべるときの表情が急に明るくなったような気がしました。「夢に出てくるときや、しゃべらんもんだでがでも、おうちのお父さん、しゃべるんだわ」とも言いました。

Mさんのお父さんというのは昨年の一月の半ばに亡くなった、Mさんのお連れ合いのことです。「そりゃ、いかったね」と言ったら、Mさんは夢の内容まで語ってくれました。

「この間も夢に出てきて、『これからウド採りに行くし、飲み物たのむわ』と言ったすけ、お父さんに番茶持たしたが……。帽子もかぶって、まあ、山に行く、そのままだったわね」

私も山菜採りは大好きで、シーズンになれば、どんなに忙しくても一度は行かないと気が済みません。Mさんのお連れ合いが行かれた山は旭方面の山なのか、菖蒲方面の山なのかはわかりませんが、はまりこんで山に行こうとしている姿は十分想像できました。

それにしても、亡くなった人が夢の中でもしゃべってくれるというのはうらやましいですね。私も九年前に父を亡くし、その後、何度か父の夢を見てはいますが、父がしゃべっている姿は記憶にありません。

Mさんが見たという夢はMさん自身の、「お父さんに会いたい、話をしたい」という強い願望が反映したに違いありません。

でも、夢の中で亡くなった人がしゃべることにはあまりないのではないのでしょうか。気になって、年末のある日、もう一度、Mさんのところに寄って確かめてみました。

驚きましたね。Mさんはその後もお父さんの夢を見ていて、そこではお父さんがまたしゃべっている、というのです。

「お父さん、自転車で乗って田舎に行って仕事してきたんだけどね。帰ってきて、疲れたさういいうすけ、『風呂入らない』そつたがだでも、風呂はちびたかった……」

この日は、居間に入らせてもらってお茶もご馳走になってきました。Mさんは、数十年前の年末年始に、Mさんちの本家に手伝いに行ったときの様子や私の随想のことなどをたっぷり語ってくださいました。

おいとまするさき、Mさんは言いました。「おら、さみしいすけ、男しよでも誰でもいいすけ、お茶飲み来てくんない、そう言うてるが……。この年になりや、関係ねすけね」

私は、「関係ねすけね」に笑ってしまいました。もう、Mさんは大丈夫です。

くろみつさんが今年も盛り上げ

吉川区の源地域新年祝賀会が5日行われました。主催は「みなもと地域づくり会議」（村松哲夫会長）、源地域を中心に40人ほどの人たちが参加しました。

冒頭、主催者を代表して挨拶した村松会長は、昨年、源地域で取られた「新酒を楽しむ会」や大賀の棚田アートなどを紹介し、1年間の頑張りをたたえました。

私も来賓のひとりとして挨拶。今上天皇が先日、「平成の時代が戦争のなかった時代として終わろうとしていることに心から安堵している」とのべられたことを紹介し、それとの対比で昭和の戦争体験をしっかりと



踏まえて生きて行くことが求められていると訴えました。

この日のアトラクションは昨年に続いて「くろみつ」さん、「乾杯」「ヤングマン」などを元気に歌い、会を盛り上げました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	1月2日(水)	1月9日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.060	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.057	0.050
名立分遣所	0.057	0.047



「いろり」がある風景

切り絵作家・西山英夫さんの懐かしの昭和の風景。今回は「囲炉裏」です。

「いろり」の中には「瘦し」や火箸などがあります。お爺さんが手にする「火吹き竹」はもうすっかり見られなくなりましたね。